

## 富山県における原子力防災の取組み状況

## 取組みの概要

- ・福島第一原発事故（H23.3）を踏まえ、県では、国の原子力災害対策指針の策定等を待つことなく、地域防災計画原子力災害編の内容を先取りする形で、原子力災害対策の拡充強化に取り組んできた
- ・具体的には、環境放射線モニタリングポストの増設（1基（H23.3）→9基（H25.4））など原子力防災資機材を整備するとともに、原子力防災訓練の実施や専門人材の育成、原子力防災知識の普及なども実施

## H24年度

予算額 2億3,400万円

## 原子力防災資機材の緊急整備

- ・緊急時に必要な安定ヨウ素剤及び防災業務従事者、医療従事者が実施する原子力防災対策に必要な防護資機材を緊急整備（県、県警、氷見市、消防等に配備）

《主な原子力防災資機材》※石川県の整備水準を目安とする

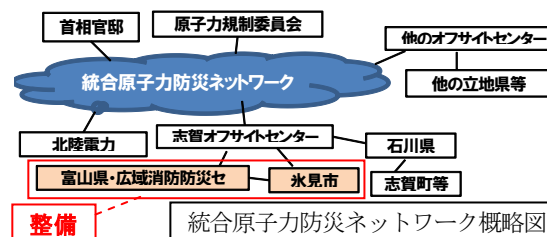
名称	防護服一式	ポケット線量計	防護マスク	放射線測定器	除染テント	安定ヨウ素剤	広報車
写真							
数量	780着	610個	413個	91台	1台	33千錠	1台
配備場所	県、県警、氷見市、氷見市消防等			氷見市	各厚生センター		氷見市

※除染テント、安定ヨウ素剤等の被ばく医療資機材の配備場所は、国の改定指針等を踏まえ、県で検討

## 災害に強い連絡体制の構築

## 原子力防災ネットワークシステムへの加入

- ・国の原子力防災ネットワークと県庁、広域消防防災センター、氷見市役所を専用回線で接続するテレビ会議システムを整備



## 各拠点における衛星携帯電話の整備

- ・県庁、氷見市、氷見市消防等原子力災害対策の拠点に衛星携帯電話を配備

## 立地県である石川県との連携・協力体制の構築

## 石川県との原子力防災連絡会議の開催

- ・相互連携や意見交換を図る石川県との原子力防災連絡会議を開催（平成24年11月9日開催）

【合意事項】①両県が連携して地域防災計画を策定、②UPZについて両県での整合性の確保、③モニタリング情報をリアルタイムで共有、④両県の医療機関の連携など



H24 原子力防災訓練

## 原子力防災訓練の実施

- ・石川県と連携した原子力防災訓練を実施（平成24年6月9日開催、24機関約350名が参加）
- 【訓練内容】①県、氷見市で災害警戒本部を立上げ、②志賀OFCの合同対策協議会に職員を派遣 ③氷見市民の高岡市への避難など

## 人材の育成・確保

- ・原子力防災に関する基礎的な研修（行政向け）のほか、環境放射線モニタリング、警察官向け、緊急被ばく医療等各種研修機会を確保

《H24年度参加者》計 242名（内訳 基礎講座等：119名 モニタリング講座：37名 警察官向け：32名 緊急被ばく医療：54名）

## 放射線監視体制の構築

## ○環境放射線監視ネットワークシステムの構築

- ・原子力発電所の事故等による影響を総合的に監視するモニタリングステーションを2局新設し、放射線の監視ネットワークシステムを配備

富山県・石川県のUPZ内の放射線量をホームページで一括表示（全国初）



## ○SPEEDI 端末等の設置

- ・SPEEDIの受信端末等を県庁、環境科学センターに設置

## H25年度

予算額 2億2,300万円

## 原子力防災資機材の更なる整備

## 被ばく医療用資機材の整備

- ・ホールボディカウンタを中央病院に整備し内部被ばく測定ができる拠点を確保（H26.3月予定）



ホールボディカウンタ（内部被ばく量を測定）



簡易型サーベイメータ（空間線量率を測定）

## 簡易型サーベイメータ（放射線測定器）の配備

- ・UPZ内の学校や、警察・消防などの公共施設や福祉施設に携帯型のサーベイメータを計120台配備（H25.12月予定）

## 災害に強い連絡体制の構築

## 非常用通信（衛星回線）の整備

- ・県庁屋上に専用の衛星アンテナを設置し、地上回線が故障した場合のバックアップ回線を整備（H25.8月整備）



県庁屋上アンテナ

## 避難計画の策定支援

## 避難計画の策定支援

- ・氷見市の広域避難の実施に必要な基本的事項を示した富山県避難計画要綱を定め、氷見市の取組みを支援（詳細は資料3を参照）

## 原子力防災訓練の実施

- ・立地県である石川県と合同で原子力防災訓練を実施（H25年11月16日予定）
- ・昨年度の訓練内容に加え、安定ヨウ素剤の配布や緊急時モニタリング実動訓練を実施

## 原子力防災知識の普及

- ・住民にわかりやすい地域防災計画概要版やパンフレット等を作成・配布し、原子力防災や放射線等に対する意識の醸成や正しい知識の普及

## 放射線監視体制の充実等

## モニタリング資機材の整備

- ・走行しながら環境放射線を測定できるモニタリングカー（移動観測車）や可搬型モニタリングポスト、雨や雪などの降下物中の放射性物質を測定する大型水盤等の整備（平成26年2月予定）



モニタリングカー



可搬型モニタリングポスト

## 平常時モニタリングの実施

- ・石川県と連携し、氷見市UPZ内の空間放射線、降下物等の環境試料の環境放射線モニタリングを開始